

中部国際空港駅 3 線目の線路増設工事に着手  
～ミュージスカイ専用ホームとし、同駅で初めてホームドアを設置～

名古屋鉄道では、中部国際空港アクセスの輸送力増強策として、空港線 中部国際空港駅(常滑市セントレア 1 丁目1 青山俊哉駅長)において、3 線目となる線路の増設工事に 10 月 20 日(木)から着手し、来年春に予定されているダイヤ改正日から空港アクセス特急「ミュージスカイ」専用線として供用を開始します。

この工事は、既設の増線用スペースに線路や電路設備などを敷設するもので、供用開始後、同駅は 8 両対応の 2 面 3 線ホームとなり、輸送力が向上します。

「ミュージスカイ」専用線のホームには、線路への転落防止対策として、列車のドアの開閉と連動するホームドアを同駅で初めて設置するとともに、全面ガラス壁を設置します。また、コンコースの両端にある待合室(2カ所)を同中央部にそれぞれ移設します。

供用開始後は、新設する「ミュージスカイ」専用ホームが 1 番ホームとなり、現在の 1 番ホームが 2 番ホーム、同じく 2 番ホームが 3 番ホームに名称を変更する予定です。

総工費は約 7 億円の見込みです。

(完成予想図)

